



羽田クロノゲート と羽田空港国際線 ターミナルミニツ アー記録

巨大物流施設の探検と羽田空港を知ろう！

日時 平成 29 年 12 月 15 日（金）参加者 26 名

川崎の産業観光を支援する会の事務局 根岸雅明 記

2017.12.17

羽田クロノゲート及び羽田国際線ターミナルミニツアー記録

支援する会事務局 根岸雅明 記

【概要】 羽田にあるクロネコヤマトグループの巨大な物流施設と羽田空港国際線ターミナルを見学してきました。日頃お世話になっている宅急便の施設や羽田空港国際線の施設を専門の方々のご案内で見学をさせていただきました。

最先端技術を駆逐した巨大な設備、サービス等に驚きの連続でした。本当のワンダー（驚き）ランドの世界を実体験してきました。

このツアーは応募開始後すぐに定員（20名）オーバーの盛況でした。締め切り前のオーバー分を何とか見学先をお願いして26名の見学者で見学することができました。

応募にかなわなかった方々には来年度もこの企画を実施していきたいと思います。参加できなかった方々には来年に時間の都合のある方は参加してみてください。一見の価値ありです。リピーターも大歓迎です。

貴重なお時間を割いていただきこのツアーを企画していただいた方々やガイドをしていただいた空港内のサービス会社の皆様関係者の方々にはお礼を申し上げます。ありがとうございました。以下はその記録です。

【日時】 平成 29 年 12 月 15 日（金）8:40～15:00

【場所】 羽田クロノゲート及び羽田空港国際線ターミナル

【参加者】 26 名（男 19 名、女 7 名）

【地図】 見学先の地図



【感想】見学者は京急川崎駅改札付近に 8 時 40 分に全員集合。通勤時間帯で駅構内はかなり混雑をしていましたが無事に移動して見学先の穴守稲荷駅で下車しました。見学先の途中の穴守稲荷神社で川崎の産業観光の安全と盛況をお参りしました。その後、10 時から 11 時半まで巨大施設の羽田クロノゲートを見学しました。構内は電磁気のカードを各自受け取り入構します。

はじめに歴史コーナーではクロネコヤマトの 1919 年の創業から宅急便の開始時期(1976 年)、未来に向けた事業展開などがキューブで紹介されています。構内は残念ながら撮影禁止でした。

次に見学者ホールに移動して映像でクロネコヤマトの仕事の仕組みなどを学びました。荷物は全国 25 万店のコンビニや拠点から集配してベースという拠点を通じてセンターに送られてきて、行き先ごとに仕分けられて各地に配送されます。

次に見学者コリドーという廊下、回廊を歩きながらベルトコンベアーに乗せられた荷物の仕分け状況などを見学しました。目の前にかんりのスピードで流れていく荷物を見学します。1 時間に 48,000 個の荷物を仕分けるそうです。速度は時速 9.7 キロと話していました。自転車の速度ですかね。かなり早いです。これが一日も休まず 365 日、24 時間連続で稼働しているそうです。故障に対するバックアップももう一つのベルトコンベアーと停電時の対策として自家発電装置も備えているそうです。荷物と荷物がぶつからないように微妙にベルトコンベアーに乗っているクロスベルトソーターという板で角度などが変化してうまく荷物が並んで運ばれている様子が見られました。AI といつか IT といつか。その機能に驚きました。新聞の印刷工場や郵便局の仕分けと同じかなと思いました。

ここのフロアーではほかの 3F~7F での作業もビデオで紹介されました。驚いたことに病院で使われている器具の洗浄や家電製品の修理も行っているとのことでした。ワンストップの作業なのですね。集配、配送からこのような新規事業にも展開していることにとっても驚きました。

このシステムを支えている集中管理室の模様も見学しました。曇りガラス張りになって中の様子が見られませんでした。突然曇りガラスから曇りが取れてクリアーに集中管理室が見られてビックリ仰天でした。皆さん驚きの声を上げていました。

最後に展示ホールに移動してプロジェクションマッピングの映像等見ながら物流を学びました。メモ用紙や消しゴム蛍光ペンなどのお土産をいただきました。

この施設は地域貢献エリアということで保育所や障がい者の雇用のためのベーカリーとカフェも併設しているようです。

建物は巨大でガラス張りですとても明るく広々として清潔感のある物流施設だと感心しました。

羽田クロノゲート見学終了後、羽田空港国際線ターミナルに移動して各自空港内のレストランで食事。

13時半よりANAの関連企業の羽田旅客サービスの会社の方々により国際線の各施設をご案内していただきました。

こちらの見学も驚きの連続でした。イスラムのお祈り施設、トランジェットのためのホテル、多目的ホールのスカイホール、介助犬専用のトイレ、各階インフォメーション、クリニック、等等。一つの街ですね。まだまだ知りえない羽田空港国際線施設だと思いますが少しでもこのような施設を学ぶことができとても楽しく驚きの連続でした。再度学習するためにまた来たいと思いました。

個人的には帰宅方向が横浜なので皆さんと別れて横浜行きのリムジンバスに乗って首都高速を走りベイブリッジを渡り横浜駅に到着しました。

この空港のリムジンバス網の充実にも驚きました。遠い所では白馬方面へのバス便もありました。それでもこの空港はまだまだ広さが必要だとのことで驚きですね。2020年のオリンピック・パラリンピックに向けてこれからも拡張や施設の充実が図られるのだらうと思いました。

帰りのバスの中でベイブリッジから見える富士山と夕闇迫るブルーモーメントがとても素敵でした。

ガイドや企画実施してきた関係者皆様にはお礼を申し上げます。ありがとうございました。

【写真集】



見学途中の穴守稲荷神社に寄りお参り。



羽田クロノゲートの建物



巨大なネコとおなじみの宅急便のトラック



1 F のフロアーで施設の案内の方から入場方法や諸注意を受けます。電磁気カードで入場します。



2 F から見学開始です。ここからは撮影禁止でした。



見学終了後、皆さんと記念撮影。



羽田空港国際線ターミナル。サービス施設の会社の担当者から案内をしていただく。



祈りの部屋。



お清めの設備



部屋は希望によりパーテーションで区切り男女別でお祈りすることもあるそうです。
天井部に方向指示版がありメッカの方に向かってお祈りするのですね。



多目的ホール。400人ほどは入れるそうです。
コンサートやパーティに使われるようです。



ここの羽田食堂でランチをいただきました。
お値段も手頃なお店を選びました。



吉野屋もありました。
ここでランチをした人もいます。



日本橋を模した二分の一のレプリカの橋。長さは25m。吉野のヒノキ材を使って作ったそうです。

壁には江戸の風景の錦絵が描かれていました。外国のお客様へ日本を知ってもらうためなのでしょうね。



シュミレーター。孫ときてみたな。
と思いました。



江戸小町



インフォメーションの女性の方に介助犬
専用のトイレなどのお話をお聞きする。



イルミネーション



リムジンバスで横浜へ。各方面へのアクセス網に驚きました。
羽田空港国際ターミナルもワンダーランドの世界でした。また来て
みたいなと思いました。